

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 06-340385

(43)Date of publication of application : 13.12.1994

(51)Int.CI.

B66B 3/02

B66B 3/00

(21)Application number : 06-138592

(71)Applicant : HITACHI BUILDING SYST ENG &amp; SERVICE CO LTD

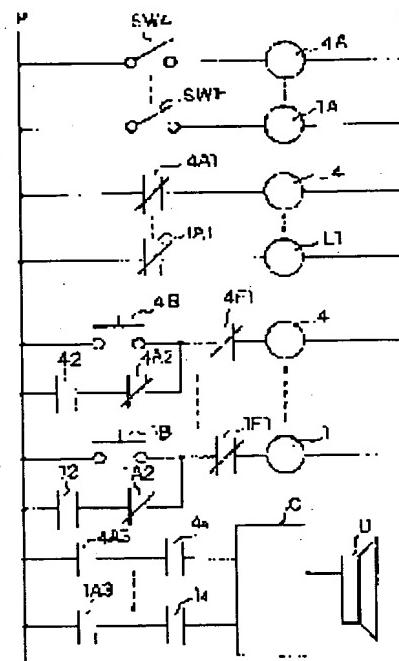
(22)Date of filing : 21.06.1994

(72)Inventor : SUZUKI KOJI  
HOSHINA SHINICHI

## (54) ELEVATOR GUIDE

### (57)Abstract:

**PURPOSE:** To make a nonstop floor guidable by means of visual and acoustic senses in combination.  
**CONSTITUTION:** This guide is provided with four switches SW1 to SW4 indicating a nonstop floor, a nonstop floor setting relays 1A to 4A operating in response to these switches, lamps L1 to L4 installed as corresponding to each floor, a speech synthesis device C and a speaker D, respectively. With either operation among these switches SW1 to SW4, either of these corresponding relays 1A to 4A operates, and thereby either of these lamps L1 to L4 corresponding to the nonstop floor goes on, and when a car call button corresponding to the nonstop floor in the elevator car is pressed, such an effect that the floor concerned by a voice is the nonstop floor is informed via the speech synthesis device C and the speaker D.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 21.06.1994

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 25.06.1996

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-340385

(43)公開日 平成6年(1994)12月13日

(51)Int.Cl.<sup>5</sup>

B 66 B 3/02  
3/00

識別記号 庁内整理番号

L 9426-3F  
Q 9426-3F  
F 9426-3F

F I

技術表示箇所

(21)出願番号

特願平6-138592

実願平2-102206の変更

(22)出願日

平成2年(1990)10月1日

審査請求 有 請求項の数1 OL (全3頁)

(71)出願人 000232955

株式会社日立ビルシステムサービス  
東京都千代田区神田錦町1丁目6番地

(72)発明者 鈴木 浩次

東京都千代田区神田錦町1丁目6番地 日立エレベータサービス株式会社内

(72)発明者 保科 真一

東京都千代田区神田錦町1丁目6番地 日立エレベータサービス株式会社内

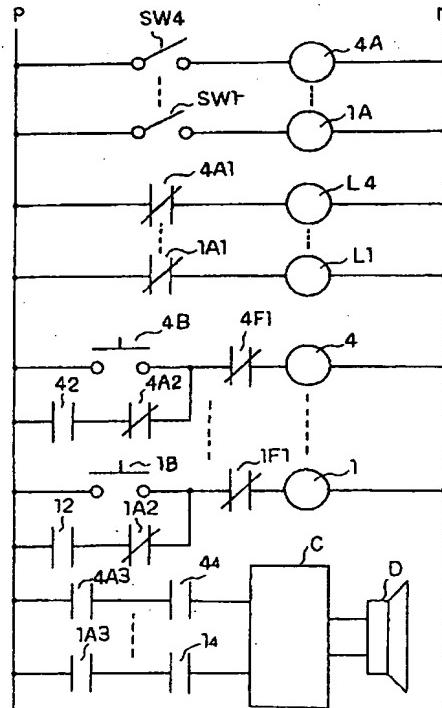
(74)代理人 弁理士 武頭次郎 (外2名)

(54)【発明の名称】 エレベータの案内装置

(57)【要約】

【目的】 不停止階の案内を視覚および聴覚で行うことのできるエレベータの案内装置の提供。

【構成】 不停止階を指示するスイッチSW1～SW4と、これらのスイッチに応動する不停止階設定リレー1A～4Aと、各階床に対応して設けられたランプL1～L4と、音声合成装置C及びスピーカDとを備え、スイッチSW1～SW4のいずれかの操作により、対応するリレー1A～4Aのいずれかが動作して、不停止階に対応するランプL1～L4のいずれかが消灯するとともに、かご内の不停止階に対応するかご呼鈴が押されたとき、音声合成装置C及びスピーカDを介して、音声で該当する階が不停止階である旨報知する。



**【特許請求の範囲】**

**【請求項 1】** かごがかご呼びまたは乗場呼びに応じて停止することを無効とする切替装置と、階床毎の用途等を案内する点灯式案内板を有するエレベータにおいて、前記かご内に案内放送装置を設け、前記切替装置により任意の階が不停止となった場合は、前記点灯式案内板のその階に対応する照明を消灯するとともに、不停止となった階のかご呼びが登録された時、前記案内放送装置で不停止階である旨の放送を行うことを特徴とするエレベータの案内装置。

**【発明の詳細な説明】**

**【0001】**

**【産業上の利用分野】** 本発明は、エレベータの案内装置に係り、特に不停止階設定時のエレベータ案内装置に関する。

**【0002】**

**【従来の技術】** 従来の装置は実開昭57-123357号公報に記載のように、任意の階が不停止となった場合、かご内に設けられている点灯式案内板の不停止階に対応する照明を消灯するものであった。

**【0003】**

**【発明が解決しようとする課題】** 上記従来技術は、視覚障害者がエレベータを利用した場合、点灯式案内板の照明を消灯するだけでは、不停止階の認知ができないという問題があった。また、点灯式案内板の照明灯が切れている場合、不停止階とそれ以外との区別が付かないという問題があった。

**【0004】** 本発明は上記問題に鑑みてなされたものであって、その目的は不停止階の案内を視覚および聴覚で行うことのできるエレベータの案内装置を提供するものである。

**【0005】**

**【課題を解決するための手段】** 上記目的を達成するために、かごがかご呼びまたは乗場呼びに応じて停止することを無効とする切替装置と、階床毎の用途等を案内する点灯式案内板を有するエレベータにおいて、前記かご内に案内放送装置を設け、前記切替装置により任意の階が不停止となった場合は、前記点灯式案内板のその階に対応する照明を消灯するとともに、不停止となった階のかご呼びが登録された時、前記案内放送装置で不停止階である旨の放送を行うようにしたものである。

**【0006】**

**【作用】** かご呼びまたは乗場呼びに応じて停止することを無効とする切替装置の操作で、任意の階が不停止階に設定されると、階床毎の用途等を案内する点灯式案内板の不停止階に対応する照明を消灯し、かつ、不停止階となった階のかご呼びを操作した時、かご内に設けられた案内放送装置で、その階は不停止階である旨の放送を行うので、誰もが確実に不停止階の認知ができるようになる。

**【0007】**

**【実施例】** 以下、本発明の一実施例を図1により説明する。

**【0008】** 図1は本発明のエレベータの案内装置の一実施例を示す電気回路図である。

**【0009】** P, Nは制御電源、SW1～SW4は階床に対応して設けられた不停止階を設定するスイッチ、1A～4AはそれぞれスイッチSW1～SW4に接続される不停止階設定リレー、不停止階設定リレー1A～4Aの常閉接点1A1～4A1は、それぞれランプL1～L4に接続されており、不停止階を設定した階床に対応するランプは消灯することになる。1B～4Bは階床に対応するかご呼鈍、1F1～4F1は階床に対応したかご位置検出装置(図示せず)の常閉接点で、停止している階の接点は閉成している。1～4はそれぞれかご呼鈍1B～4Bの操作に伴い付勢するかご呼登録リレーで、12, (22, 32……図示せず)、42はかご呼登録リレー1～4の自己保持用常閉接点、1A2～4A2は不停止階設定リレー1A～4Aの常閉接点で、それぞれ、かご呼登録リレー1～4の自己保持を阻止し、かご呼を登録不能にする接点で、かご呼鈍1B～4Bと常閉接点12, (22, 32……図示せず)、42と直列接続された常閉接点1A2～4A2が並列接続され、これと常閉接点1F1～4F1とかご呼登録リレー1～4を直列接続し、それぞれ階床に対応した回路構成となっている。音声合成装置Cは、複数のメッセージを記憶でき、かつ、複数の入力信号に対応するメッセージを選択して、その選択されたメッセージの信号をスピーカDに出力し放送するものである。不停止階設定リレー1A～4Aの常閉接点1A3～4A3とかご呼登録リレー1～4の常閉接点14, (24, 34……図示せず)、44を階床別に直列接続して音声合成装置Cの入力信号としている。

**【0010】** 次に動作の説明を、仮に4階床を就役するエレベータとして行う。

**【0011】** まず、4階を不停止階とする為に不停止階設定スイッチSW4を操作すると、P-SW4-4A-Nの回路により不停止階設定リレー4Aが付勢し常閉接点4A1, 4A2が開放し、常閉接点4A3は閉成し、P-4A1-L4-Nの回路が開路することによりランプL4が消灯し、視覚により4階が不停止階になった旨の報知を行う。

**【0012】** 次に、1階から乗客が乗り、かご呼鈍4Bを押している時だけP-4B-4F1-4Nの回路ができる、また、常閉接点4A2が開放していることにより4階への呼登録が阻止される。上述したように、かご呼鈍4Bを押している間だけかご呼登録リレー4が付勢し、常閉接点4A4が閉成している。また、常閉接点4A3も閉成しているのでP-4A3-44-C-Dの回路により音声合成装置Cの入力信号ができ、スピーカDより例

えば「このエレベータは4階には停止いたしません」等のメッセージを放送し、不不停止階床となった階床のかご呼が操作された時、視覚によって4階が不不停止となった旨の報知を行う。

### 【0013】

**【発明の効果】**本発明によれば、階床毎の用途等を案内する点灯式案内板の不不停止階に対応する照明を消灯し、かつ、不不停止階となった階のかご呼を操作した時、かご内に設けられた案内放送装置で、その階は不不停止階である旨の放送を行うので視覚及び聴覚障害者がエレベーターを利用しても確実に不不停止階の認知ができるようにな

る。

### 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のエレベータ案内装置の一実施例を示す電気回路図である。

### 【符号の説明】

SW1～SW4 不不停止階設定スイッチ

L1～L4 ランプ

1B～4B かご呼釦

1～4 かご呼登録リレー

10 C 音声合成装置

D スピーカ

【図1】

